

TAMATEYAMA

謹賀新年 おもしろい学園をつくる“チームDreams & Wills”誕生!

巻頭 理事長挨拶

関西女子短期大学



関西福祉科学大学



関西福祉科学大学
高等学校



認定こども園
関西女子短期大学
附属幼稚園



恩 感

建学の精神「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動 感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

謹賀新年 おもしろい学園をつくる

令和5年(2023年)をどう過ごす 学園はチームDreams & Wills 始動!

夢と志 Dreams & Wills を語り 形に 行動に

令和5年 卯(ウサギ)年 2023年が 学園のみなさま(学生 生徒 園児 教職員) 一人ひとりの夢と志が育つ豊かな一年になりますように。「夢と志?」と感じる方は夢中になるもの(大小 高低 色 形などは不問)に出会えることを祈念します。Dreams & Wills を語りワクワクする そんな学園をみんなで育てていきましょう。チームDreams & Wills も頑張ります。

玉手山学園ブランド
(価値・評価)

私たちは
こんな学園を
めざします

ありがとうを大切にする 建学の精神「感恩」
「夢と志」(Dreams & Wills) を育てる
その豊かな心を形にし行動する
できる方法を考える やってみる チャレンジする
元気 やる気で 夢中になる
笑い あいさつし 優しく接する

学園ブランドは学園経営理念の主旨・発信版

“夢は逃げない
逃げるのはいつも自分”
さあ「夢と志」を育てよう!



夢と志の複製額装

ご希望(欲しい)の方は法人本部経営企画室まで



地域連携クラブ学生

柏原市民フェスタ(R4.11.5)でサータアンダギーを
“やってみたらおもしろかった”
柏原市長も来店!



ほいくふえすた(R4.11.23)

園児も短大生(あと1年と少しで保育現場)にも
楽しみ成長



高校生 松永実李さんの夢と志

イラストレーター
みんなの応援も不安も自分で決める!



理事長の似顔絵 松永さん作

理事長・学園長 江端 源治

感恩

建学の精神「感恩」



Kanjo幼 作品展(R4.11.23)

園児の“豊かな思いイメージが形になって”
はちがそらじゅうにとんでいる

チーム Dreams & Wills 誕生!

チーム Dreams & Wills とは!?

Dreams & Wills 趣旨・目的は?

For the students & for ourselves

「Dreams & Wills (夢と志)」を形にし行動
おもしろい学園づくり
固定観念 既成概念に“目は背けず”
できる方法を考えて やってみる
活動を通してみんなが
未来を拓く次世代が成長

Dreams & Wills 誰のチーム?

玉手山学園(理事会 理事長)がつくるチーム
庶務(お世話)は法人本部

Dreams & Wills それで いったい何をするの? “元気に 誠実に ヤンチャに”

色んな思い アイディアの実現(やってみよう!)に向け
「できる方法」「仕掛け」を考え 企画 そして提案(該当所属・部署へ)
企画・提案の大小 高低 形 色などは不問(自由に 垣根なし)
授業 教育プログラム クラブ・サークル イベント 夢中になれること etc…

Dreams & Wills 誰が入れるの? 令和4年10月12日 募集開始

玉手山学園の職員(20~40歳代)なら
誰でも(所属 職種 雇用形態は不問)

Dreams & Wills いつ どこで活動するの?

学園内で 自主自発的な活動
“ノルマなし” but “夢と志あり”
勤務時間内でも活動OK(上長の許可を得て)

Dreams & Wills 何を考え 何をしている? みんなに知ってもらいたい

透明性重視(活動内容は公開“ガラス張り”)

チーム Dreams & Wills メンバー 高等学校 足立匡先生の夢と志は?

私の志は

「何事にも前向きに楽しむ!」
ことです。仕事でも プライベートでも 後ろ向
きに嫌々取り組んでも物事は良い方向に進ん
でいかないと思っています。心の持ち方によって結果
は変わってくる。その結果 家族・生徒・仲間が
笑顔になってくれることが私の夢です。

このチーム Dream & Wills がきっかけに所属の垣根を越えて
学園全体が笑顔になれるよう頑張ります!



学園創立80周年記念事業NEWS

#Tamaファン

法人本部 江端 将史

2022年(令和4年)、学校法人玉手山学園は創立80周年を迎えました。
日頃の感謝を込めて、皆さまと一緒に80周年を大いに楽しむべく、以下の様々な事業を実施しております。
各事業の詳細は特設サイトよりご確認ください!

シンボルマーク



テーマ

TAMA FAN FUN!

～みんなでのしもう～

01

たまちゅーぶ&たますたぐらむ

たまちゅーぶ



たますたぐらむ



YouTubeチャンネル「たまちゅーぶ」では、80周年企画として園児・生徒・学生・教職員による
🌟「玉手山ふしぎ発見!」動画🌟など、さまざまな動画を公開しています。公式Instagram「たますたぐらむ」では、80周年記念企画の動画をはじめ、🌟教職員インタビュー🌟や学園の魅力を多くの方に知っていただけるような情報を定期的に投稿しています。これからも学園内の園児・生徒・学生・教職員による動画や学園のホットな情報を発信してまいります!



02

フォトコンテスト・記念写真集

9月～11月にかけて高校文化祭・大短美葉祭・たまたま音楽祭・幼稚園作品展において
“フォトコンテスト”を開催しました!

展示会場には多数の方にお越しいただき、

🌟 お気に入りの一枚 🌟

に投票していただきました。

作品を応募してくださった皆さま、投票してくださった皆さま、ご参加いただきありがとうございます!!

加えて、2012年～2022年までの学園の変遷を収めた「DVD」も現在制作中です!

そちらもどうぞお楽しみに♪



03 「たまたま音楽祭 2022」



高校生
中島隆之介さんのデザイン

11月13日(日)、80周年を記念し、**学園初の学生・生徒・園児そして地域の小学生・中学生による音楽祭**を記念講堂にて開催しました。

当日は、11団体約200名の出演者が、演奏・歌唱・ダンスパフォーマンス等を披露し、378名の方にご来場いただきました。学生・生徒・園児・教職員・地域の皆様が音楽を通じ交流し、共に楽しい時間を過ごすことができました！

出演団体

玉手山学園吹奏楽団
 関西福祉科学大学: 軽音サークル
 関西女子短期大学: 和太鼓クラブ(鼓魂)
 関西福祉科学大学高等学校:
 ダンス部、ギター部、和太鼓同好会
 関西女子短期大学附属幼稚園:
 Mai Ballet Studio/リミックバレエクラス、
 あおい新体操クラブ
 柏原市少年少女鼓笛隊、
 シラ ダンス スペース、CHEER FAMILY



04 遊びの天才を作ろうTAMA遊び

8月26日(金)、「TAMA遊び」を玉手山学園記念講堂及び第2体育館にて実施いたしました。

地域の保育園・こども園と附属幼稚園の5歳児を対象に、福科大・関女の学生及び附属高校の生徒がアイデアを出し合い、お店屋さんや手作りコンサートで子ども達の「夏の思い出づくり」をしました！



05 記念Tama Cafeメニュー

80周年特別プライス!!

学生・生徒・教職員の

「80周年記念にこんなメニューを食べたい!」の声に答えて、

学園創立80周年記念の期間限定メニュー ～第2弾～

を学園食堂Tama Caféにて販売中です!

メニュー内容、盛り付けイメージ、味、ボリューム等、

学生・生徒・教職員の意見・アイデアを基に、

Tama Caféスタッフと80周年記念Tama Caféメニュー事業メンバー(学生・生徒・教職員)による複数回のミーティングや試作を経て完成しました!

今回は**16種類のメニュー**を、1週間ごとに4種類ずつ新メニューとして販売しています。

また、今回は80周年の感謝の気持ちを込めて

「80周年記念スペシャルプライス」で販売しています。



この機会に是非Tama Caféをご利用ください!



美葉祭!!

学生支援センター 江端 一揮

3年ぶりの対面!



2022年10月29日(土)・30日(日)、3年ぶりとなる対面での大学祭を実施しました。
 久しぶりの対面での大学祭、学生がどのような気持ちで準備を進めてきたのか、
 大学祭実行委員長：和田真那斗さん(社会福祉学科2年)にインタビューを行いました。

苦勞したこと

江端 「今回、委員長や各局の局長を務めたみなさんは2年生ということで、初めての対面での大学祭になったと思いますが、一番苦勞したことは何ですか？」

和田 「対面での大学祭を経験したことがあるのが4年生の先輩だけだったので、1から大学祭を組み立てる形になったことが大変でした。」



楽しかったこと

江端 「では逆に、楽しかったポイントを教えてください」

和田 「当日、来場者の方の笑顔が見られて、準備も頑張った分嬉しかったです。」



印象に残ったこと

江端 「準備から当日の運営まで大変だったと思いますが、一番印象に残ったことは何ですか？」

和田 「久しぶりの対面式で来場者が来るか心配でしたが、1400人もの人に来ていただけたことが印象的でした。大きなトラブルもなく、無事に終わることができてよかったです。」

江端 「来年は後輩のサポートに尽力いただきたいと思います。またよろしくお祈りします!今日はありがとうございました。」

和田 「ありがとうございました。来年もよろしくお祈りします!」



学園内高校サッカー部での コンディショニング講習会

大学広報室 西村 直也

関西福祉科学大学リハビリテーション学科 理学療法学専攻では、
関西福祉科学大学高等学校のサッカー部の選手やマネージャーを対象に、
体力測定会やコンディショニング指導を定期的に行っています。

スポーツを行う上での理学療法士の行うコンディショニングは、
メディカルの知見からケガをしにくい身体づくりを目的とするもので、
本講習会により選手のみなさんのコンディショニングへの意識が高まり、
ケガによる障害が軽減できることを期待しています。



高校サッカー部

奥野奨也さん 2年

コンディショニング講習会に参加して印象に残っているのは、怪我をしないうための体作りです。スポーツ選手にとって怪我をすることは致命的です。

今回は、怪我の率を軽減するための方法を教わりました。日々のストレッチ、睡眠の質、湯舟に浸かる事などです。また、熱中症にならないための水分、塩分の対策なども教わりました。このような選手にとって大切な知識を今後サッカーで活かしていければと思います。

宮本優さん 2年

真夏の猛暑日の中でも良いコンディションを保つ為の講習を受け、教わったことを活かし、今年の夏は何とか乗り切りました。これからマネージャーとして、選手のコンディションを一番に考え、整え、支えていこうと思います！

中谷美涼さん 2年

今回、熱中症対策の話聞き、当たり前だと思っていた水分補給がどれだけ大切かを学びました。選手の皆には常に良い環境・状態でサッカーをしてほしいので、常に冷たい水を渡せるようにしたり、体調の面でもサポートできるようなマネージャーになれるよう頑張っていきたいです！



関女技能オリンピック

— 学生インタビュー —

学生支援センター 若本 莉奈

11月26日(土)、第13回関女技能オリンピック表彰式が開催されました。関女技能オリンピックは、各学科の専門職に特化した技術を競い合う技能大会で、技術の向上と自己研鑽を目的として実施しています。

表彰式では、10月から11月にかけて各学科で行われた予選・本選にて優秀な成績を収めた学生・ゼミが表彰されるとともに、金賞受賞者による素晴らしい実演が披露されました。

看護保健学科

テーマ：
三角巾と包帯法による患部の固定と保護



金賞受賞 大西 菜々子さん



2年生は1年生から、1年生は2年生から双方に刺激を与えあい、自分たちの足りない部分に気づくことができる点が関女技能オリンピックの1番の魅力であると感じます。

私自身、昨年の先輩方の包帯法の技術や声掛けを見て、「先輩方のようにになりたい!」と大変刺激を受けたことを鮮明に思い出せます。今年はまさか私が入賞するとは思っていませんでしたが、1年生の方々への刺激に少しでもなることができれば嬉しく感じます。



歯科衛生学科

テーマ：
歯垢染色のための技術



銀賞受賞 瀧元ゼミ 西田 想那さん

染色するための綿球を作る実習を行ったのは、1年生の頃だったので、手技を正しく覚えているか不安でした。そのため、関女技能オリンピックに参加前に再度患者対応から、正しい大きさでの綿球作りを繰り返し練習しました。そのおかげで本番は、緊張せず力を抜いて実技を行うことが出来ました。

3年生になり学外実習に出た際や、就職してからも必要になる技術ですので、しっかり身につけて役立てていきたいと思っています。



保育学科

テーマ：乳幼児期の子どもを対象とした保育者が演じる劇



金賞受賞

山崎ゼミ 石井 蘭楽さん

練習中はうまくいかないこともありましたが、みんなで意見を出し合い試行錯誤して、自分達らしく元気で素敵な作品を作り上げることができました。関女技能オリンピックが終わった今では、ゼミ生同士の協働性も身についたと感じます。また、他のゼミの発表を見て、改めて得た知識や表現が沢山あったので、残りの学生生活でもっと知識や技能を身につけ、現場で活かしていきたいと思っています。



金賞受賞

山崎ゼミ 塚本 楓花さん

子どもたちにとって分かりやすい内容になることを目指し、何度も何度も話し合いと練習を繰り返し、大変でしたが、結果金賞を頂き嬉しかったです。これからも、何度も挑戦をすること、協力すること、保育を楽しんで行うことを大切にしていきたいと思っています。



医療秘書学科

テーマ：オコジョシは受付対応もエレガンス



金賞受賞 橋本 風優さん

思った以上にあまり緊張しなかったです。イメージトレーニングをたくさんして、色々なケースを考え、自分でリハーサルを何回もしました。



銀賞受賞 本郷 由佳さん

受付の対応では正解がないので、本番中に自分自身で改善点を見つけた点が難しいと感じました。



銅賞受賞 松村 紗希さん

80歳の患者さんを想定した対応を行い、普段ご年配の方と接する機会があまりないので、声が聞きとりづらく戸惑いましたが、この経験を就職後に活かせると思いました。



銅賞受賞 岡嶋 風菜美さん

本選の時に、保険証の有効期限が切れていたことに気づいたので、毎回確認をしっかりと行うことを就職後も活かせると思います。



みんなであーとを楽しもう！ “ほいく・あーと・ふえすた”

短大 保育学科 宇津木 七実



11月23日(祝・水)に保育学科の行事“ほいく・あーと・ふえすた”を開催しました。時間制限や入場者数制限、マスク着用、消毒等の新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行い、附属幼稚園や地域から114名の子どもたち(70組のご家族)を迎えることができました。スタッフとして準備段

階から活躍した学生たちは、子どもたちの一生懸命な姿にふれ、喜びや充実感を味わっていたようです。学生たちの作品も展示された会場のあちらこちらで、“あーと”を楽しむ笑顔が溢れていました。



保育学科1年 中村 亜未

アートワークショップ委員をしてみて、行事のための時間が限られていても効率を考えながら取り組み、計画や準備ができることが分かりました。

‘ガラスにお絵描き’のコーナーを担当し、どんな言葉を掛けてあげたら、子どもたちはのびのび絵が描けるのかを考えながら関わりました。傍で見ていた保護者の方々から、子どもには、いろいろな体験をさせてあげたいという想いが伝わってきました。

幼稚園

幼稚園 / 作品展

11月23日(水)、作品展が行われました。今年度は全クラスを鑑賞でき、たくさんの方々に園児の絵画や作品を見ていただくことができました。子どもたちがイメージを膨らませて楽しみながら作った作品は、世界にたった一つの宝物です。作品や絵画の素敵なお話に心が温くなる一日でした。



たのしかったうんどうかい

幼稚園 元田 幸代

10月22日(土)、学園総合体育館にて乳児の運動会が行われました。当日まで体操や歌を毎日練習していた子どもたち。当日はいつもと違う雰囲気に登園の時から泣いている子どもいましたが運動会が始まるとたくさんの拍手に出迎えられ入場。名前を呼ばれてかっこよく返事をしてかけっこをしたり、各学年の遊戯ではペンギンやさるに食べ物を「あーん」

と食べさせてあげたりと、ときどきながらも元気いっぱいでした。全員演技のダンスでは腰みのをつけてダンス!大好きな曲に合わせて踊ることが出来ました。最後に担任からメダルを首にかけてもらっていっぱい褒めてもらい、とても嬉しそうな笑顔でした。



ぐんきいっぱいいうんどうかい

幼稚園 稲垣 晃子

10月9日(日)、雨の心配を子どもたちの元気で吹き飛ばし、全学年での運動会が行われました。たくさんの保護者の中、泣いてしまう子どもややる気満々で手を振っている子ども、照れくさそうな笑顔を浮かべる子どもなど、様々な子どもたちの表情が見られました。

順位を競いながら一生懸命に走っていたリレー。友達との繋がりの深さを感じさせる青組の遊戯や組み体操・競技は、子どもたちの達成感あふれる笑顔に現れていました。友達と気持ちを一つにかっこいい曲に合わせて音を鳴らし遊戯を楽しんだ赤組。年少組の友達の手を繋いで踊ってくれ、お兄さんお姉さんの優しい顔になっていました。ペンギンに変身して歌い楽しみながら踊った桃組ひよこ組。ドキドキがいっぱいでしたが、先生や友達と一緒に笑顔がいっぱいでした。

全学年で開催された運動会での子どもたちは、たくさんの方々に見守られながら頑張る姿がそれぞれの学年らしさいっぱいでした。運動会での保護者の皆様や学園関係者の皆様の温かい拍手によって、子どもたちはたくさん成長した一日だったと思います。ありがとうございました。





檀原神宮へ

秋の遠足

幼稚園 古上 愛菜



11月8日(火)、あおぞら号に乗って檀原神宮に遠足へ行きました。

子どもたちは11月に入ると遠足がとても楽しみだったようで「もうちょっとで遠足行く?」「遠足は電車で行くよね!早く行きたいね~!」と先生や友達と毎日毎日とても嬉しそうにお話をしていました。

待ちに待った当日!遠足を楽しみにし過ぎて前日はなかなか寝付けなかった子どもや、お家の人が遠足の準備をしてくれたリュックサックを登園する前からずっと背負っている子どもがたくさんいました。

園から青組のお兄さんやお姉さんともも組、ひよこ組、こすもす組は手を繋いで出発しました。赤組はクラスの友達と手を繋いでしっかりした足取りで歩きました。

待ちに待ったあおぞら号が駅に到着!駅で待っていた全園児が嬉しそうな顔をしてにっこり笑いながら慎重に電車に乗り込みました。

電車の中では「今日は何をして遊ぼうかなあー!」「お弁当やおやつはなんだろう?」とみんな思い思いに友達と話をし盛り上がっていました。檀原神宮の広場に到着くとたくさんのどんぐりや綺麗な色をしている落ち葉、広い芝生の広場があり子どもは口々に「うわー!着いたね!」や「どんぐり拾いに行こ!」ととても嬉しそうにしていました。どんぐり拾いや秋の物探しなど、各クラスでいろいろなことをたくさん遊びました。

子どもたちが楽しんでいたお弁当の時間ではお家の人が作ってくれたお弁当を友達や先生に「みんなで食べると美味しいねー!」とお話しながら青空の下でもりもりと美味しく食べていました。

帰り道はみんなたくさん遊んだので少しお疲れモード。電車に乗ると今日の楽しかったことを友達と話し合う子どもたち、満足そうにすやすやと可愛い寝顔で眠る子どもたち、車窓からの景色を見ている子どもたち、思い思いに電車の中で過ごしました。

この遠足で子どもたちはたくさんの楽しい経験ができたようでした。これからも子どもたちが楽しめる保育、行事などを考え取り組んでいこうと思います。



学園祭 ～文化祭 & 体育祭～

高校 溝口 哲



今年度の学園祭のテーマは、『青春したい宣言』～この時間は二度とこない～でした。本校では文化祭と体育祭を合わせて学園祭とし、学校行事の中心と位置付けています。クラス・クラブで協力して取り組み、行事を通して仲間と関わる中で授業とは異なる人間的な成長を感じることが出来ます。コロナ禍で、あらゆる学校行事を中止せざるを得ない中、昨年度は工夫を凝らして何とか形を変えて実施出来ました。しかし生徒は勿論、保護者、教職員を含めた全員が「今年度こそ制限無く実施したい」という気持ちだったと思います。全校生徒から募集して決定した学園祭のメインテーマに、その“想い”があふれ出ています。

ところが、なかなか新型コロナウイルス感染症が沈静化しない中、新たな感染拡大の兆しもあり、残念ながら今年度も昨年度同様に制限した中での実施となりました。昨年度と異なる取り組みが出来たのは、保護者に来校して貰えるようにした点でした。文化祭では密にならないよう到来される時間を制限し、限られた時間の中で生徒たちの取り組みをご覧いただきました。1年生は展示部門、2年生はイベント部門と舞台部門、3年生はイベント部門と取り組み内容を分散したため、昨年度よりも多種多様な取り組みが見られました。文化祭は文化クラブの発表の場と位置付けているため、どのクラブもこの日に向けて懸命に準備をしています。それを保護者に見てもらえることは生徒達にとっても昨年よりもやる気になったことでしょう。全校生徒に協力を依頼し、生徒会で製作したモニュメントは『感謝の木』。ふせんに

普段感じている感謝の気持ちを、全校生徒一人一人に書いてもらい、それを花や葉に見立てて学年ごとの木にしました。様々な「感謝」が集められ、見ていて心が温くなるものが出来上がりました。

体育祭は昨年同様、学年別実施により2日に分けて種目を制限しての短縮実施となりました。平日実施であるにもかかわらず、どの学年も多くの保護者に観覧に来ていただきました。各学年有志の応援団や集団行動、ダンスなど圧巻のパフォーマンスだけでなく、それぞれの得手・不得手に応じた種目に取り組む生徒たちの元気な姿を見てもらうことができました。





令和4年度 クラブ活動報告

8月から11月までのクラブ活動のおもな結果を報告させていただきます

なぎなた部

第77回大阪高等学校総合体育大会
なぎなた競技会(8月)

団体の部 第3位
個人の部 優勝

令和4年度近畿高等学校なぎなた選手権大会
大阪府予選会(11月)

団体の部 第2位
個人の部 第5位
演技の部 第5位

※上記の結果により、
近畿高等学校なぎなた選手権大会(2月 和歌山)に出場決定。

日本拳法部

第67回全国高等学校日本拳法選手権大会(8月 愛知)

男子団体の部 優勝
男子個人の部 優勝、第3位
女子個人の部 第3位

第77回大阪高等学校総合体育大会日本拳法競技会(9月)

男子団体の部 優勝
女子団体競技 優勝
男子個人の部 優勝、第5位
女子個人の部 準優勝、第3位

第27回西日本高等学校日本拳法選手権大会(11月 大阪)

女子団体の部 準優勝

第52回柏原市市民表彰式典 体育・スポーツ奨励賞を受賞
(11月3日 柏原市民文化会館)



バレーボール部

第69回大阪私学総合体育大会
バレーボール優勝大会(9月)

※上記の順位決定戦の末、第41回近畿私立高等学校
バレーボール選手権大会(12月 京都)に出場決定



バドミントン部

第77回大阪高等学校総合体育大会(8月)

学校対抗の部 女子 第3位
男子 第3位
ダブルスの部 男子 準優勝

第68回大阪私立高等学校総合体育大会
バドミントン競技の部(8月)

学校対抗の部 女子 第5位
男子 準優勝

第69回近畿高等学校バドミントン選手権大会
大阪府予選会(10月)

ダブルスの部 女子 第5位
男子 第5位
シングルの部 男子 第5位

※上記の結果により、近畿大会に出場決定。

第51回全国高等学校選抜バドミントン大会
大阪府予選会(10月)

学校対抗の部 男子 第3位

男女テニス部

第77回大阪高等学校総合体育大会 テニス大会(8月)

男子シングルの部 予選ブロック 優勝
女子シングルの部 予選ブロック 優勝
男子ダブルスの部 予選ブロック 優勝

第36回大阪高校サマーテニストーナメント(8月)

男子シングルの部 ベスト16

陸上部

第77回大阪高等学校総合体育大会(8月)

男子 400m 8位

大阪高等学校夏季陸上競技大会(8月)

男子 400m 7位
男子 600m 6位

大阪高等学校秋季陸上競技大会(10月)

男子 400m 5位

※男子 200m、400mにおいて、来年度開催の阪奈和大会に出場決定。

ハンドボール部

第32回近畿私立高等学校

男子ハンドボール大会(12月 奈良・和歌山)に出場決定。

美術部

第71回大阪私学美術展(10月)

奨励賞(2名)





避難所運営演習

地域連携センター 江端 七海



令和4年10月11日(火)に避難所運営演習を実施しました。「全体座学～避難行動について考える～」・「演習実技～避難者の応急手当及び搬送について～」・「演習実技～避難所における備蓄物資や資機材について～」を2グループに分かれて学

びを深めました。人数制限をさせていただいた中で、学園教職員・学生・生徒、柏原市からは富宅市長をはじめ市職員、市議会議員、近隣の方々など総勢137名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



今年で開催するのが
4回目になりました！
たまちゅーぶに避難所運営演習の
動画を掲載しています。
地域連携センター 中井さん



皆さんに優しく
手当していただきました！
助け合いを体感。

施設部 関家さん



今回はダンボールベッドを作る役をしたのですが、本当に簡単に誰でも作れて、避難してきた人がすぐ寝る所を確保出来ることはとても良い事だと思いました。

ただ簡単と言っても、1人で作るのは大変だなと感じました。避難所にいる人達がお互い協力し合うことや、今回のダンボールベッド作りの経験を活かしてすぐに作れるように避難所で備えておくことも大切だなと思いました。

2年7組 松井 遥菜さん



私は今年で
参加するのが2回目になります。
去年は座学中心だったので、
今年は段ボールベッドや
テント作りなど体験でき、
非常に勉強になりました。

社会福祉学科4年生
仲辻さん



最初は戸惑いながらも
地域の方と協力しながら
スムーズに進めることができ、
ダンボール素材のベッドなども
簡単に組み立てることができました。
今回学んだことを生かして、
災害時には少しでも
援助する側に回れたらと
思います。

2年7組 岡本 紘希さん



建学の精神 「感恩」

人は さまざまな恩恵のもとで 生かされている
この真理に目覚め 感動 感謝から生まれる 豊かな心と情熱をもって
人の幸せを願い 行動するとき 私たちは成長し 社会に貢献できる
～「ありがとう」に出会い 気づき 感動 感謝の行動から
新しい「ありがとう」が生まれる～

使 命

建学の精神「感恩」を実践する人を育成し 豊かな未来社会をつくる

綱 領

1. 学生 生徒 園児のもてる力 志をひきだす
その教育実践により 職員も豊かになる
2. 教育人として 自己の能力 人格の向上に努め その使命を誠実に遂行し
未来を拓く「知・志」を継承 創造する
3. 各校園は 教育理念のもと 具体的な教育目標を掲げ
職員は 常に改革(できる)の意識とスピード感をもって
創意工夫 試行を重ね その達成に総力を結集する
4. 職員育成(強い組織)に努め 健全な財政基盤を確立し 学園の継続 発展を創り出す

ビジョン

経営理念“学園ブランド”の実践 *For the students*

1. 夢と志 (*Dreams and Wills*) を育てる 豊かな心を 形に行動に
～ありがとう 笑顔 あいさつ 優しさを大切に～
2. 教育力の向上 学業成果(できるようになる)・修学成就
3. 教育体制の充実
・組織安定
・4校園体制堅持(大学 短期大学 高等学校 認定こども園)
・健全収支
・教育環境(施設・設備等)の充実・愛用(安全安心 快適)
4. 地域共生 社会に愛され 成長する学園
5. 学園総合力の向上(学園ファミリー意識)
各校園(職員 学生 生徒 園児)の相互協力 尊重

玉手山学園がめざす学園ブランド(価値・評価)

ありがとうを大切にする 建学の精神「感恩」
「夢と志」(*Dreams & Wills*) を育てる
その豊かな心を形にし 行動する
できる方法を考える やってみる チャレンジする
元気 やる気で 夢中になる
笑い あいさつし 優しく接する

思 感

建学の精神「感恩」

夢と志
DREAMS & WILLS

学生寮リノベーション

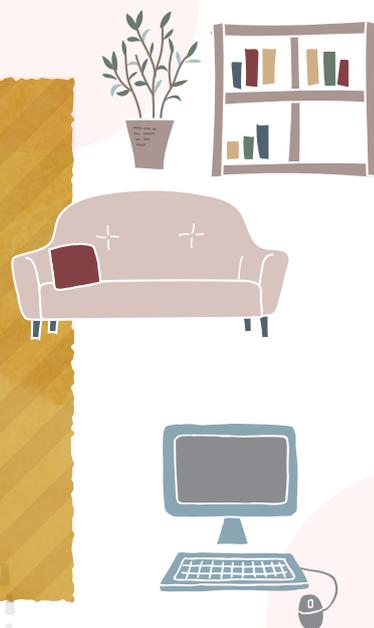
大学事務局 学生支援センター



この度、学生寮のリノベーションを行いました。
一時、外住まいをお願いするなどご不便をおかけしましたが、
寮生の皆さんの協力により、無事に完遂することができました。

リノベーション箇所のポイント

- ①寮室や浴室の改装
- ②寮生同士で談話できる
コミュニケーションルームの新設
- ③周囲に気を遣うことなく
通話などができる防音室の新設
- ④洗濯機に加え乾燥機も常備した
ランドリールームの新設



学生が普段住まう寮室については、個室スペースを設け、
個人にも配慮した造りになりました。

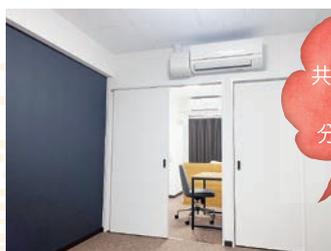
新設した設備についても、寮生たちから好評を得ています。
防音室については、家族や友達との通話のほかに、電話

で質問をしながらの就職活動や勉強など、プロジェクトチーム
が想定していなかった方法でも活用しているようです。

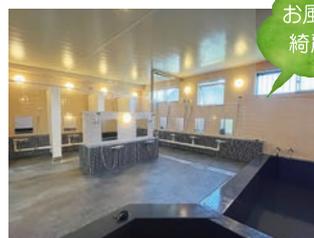
これからも、より住み心地のいい学生寮を目指して、寮生
たちと協力して参ります。



エントランス



各部屋が
共同スペースと
個室で
分けられました!



お風呂も
綺麗に!

個室がついて
過ごしやすい
なった



綺麗になって
嬉しい!



防音室

周りに気を
遣わなくてよい
こだわりの防音室!



ランドリールーム

学園広報編集委員会

委員長 湯川 雅紀 (大学教育学部) 古橋 正則 (高等学校) 江端 万純 (法人本部)
委員 西村 直也 (大学事務局) 稲垣 晃子 (幼稚園) 松井 愛 (法人本部)
横山 学 (大学事務局) 與原 真弓 (法人本部)